

2009年2月9日

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 田 尚 彦
(東証第二部・名証第二部・JASDAQ コード番号:7747)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 竹 内 謙 式
(TEL.052-768-1211)

業績予想(連結・第2四半期累計期間)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2008年11月12日の「業績予想(連結)の修正に関するお知らせ」で公表致しました2009年6月期(2008年7月1日～2009年6月30日)の第2四半期累計期間の業績予想について、下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 第2四半期累計期間の業績予想数値の修正(2008年7月1日～2008年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	6,243	519	141	△225	△14.23
今回修正予想(B)	6,100	800	380	△280	△17.66
増減額(B-A)	△143	281	239	△55	△3.43
増減率(%)	△2.3	54.1	169.5	△24.4	-
(ご参考) 前期実績(2008年6月期中間)	6,086	660	653	240	15.18

(金額の単位:百万円)

2. 修正の理由

売上高については、円高ドル安の進行などにより、前回予想を若干下回る見込みであります。

営業利益については、売上高は減少したものの、タイパーツ安の影響や、主力事業メディカルを中心に稼働率が向上したこと、更には固定費及び販管費のコストダウン努力等により、売上原価及び販売費及び一般管理費が想定以上に減少したことを受け、大きく上回る見込みです。

経常利益については、円高の進行により為替差損約450百万円の発生が見込まれるものの、営業利益が好調に推移したことを受け、上回る見込みです。

また、当第2四半期末において、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復する見込みがあると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損458百万円の特別損失計上が見込まれます。よって、四半期純利益については、前回予想を下回る見込みであります。

これらを総合し、第2四半期累計期間につきましては、売上高の下方、営業利益・経常利益の上方、四半期純利益の下方の修正を行っております。

なお、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益は当初予想を大きく上回りましたが、為替や株式市場の動向が不透明であることや、第3四半期以降は、世界各地の景気減速の影響を受け、産業機器分野を取り扱うインダストリアルデバイス事業の取引市場である自動車・OA機器・建築等々のあらゆる市場が縮小傾向にあり取引減少となる可能性が高いことや、メディカルデバイス事業の取引先である医療機器メーカーが在庫調整や積極的な開発投資を控える兆しがあり特に海外向け医療部材の取引が減少となる可能性が出てきたことなどを複合的に考慮し、2008年11月12日の「業績予想（連結）の修正に関するお知らせ」で公表した通期連結業績予想の見通しについては変更致しておりません。

なお、配当予想につきましては、現在のところ変更はございませんが、長期にわたり安定的な配当を継続することを基本方針として、今期最終連結業績、今後の業績見通しなどを総合的に判断して決定する所存です。

〈ご参考〉 通期の連結業績予想（2008年7月1日～2009年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
今回修正予想(B)	13,264	1,452	1,044	307	19.42

（金額の単位：百万円）

※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

なお、当中間期の決算発表は2009年2月12日を予定しております。

以上